

高野岩二郎 たかの いわお 統計學者、法學博士。明治四年九月一日長崎縣

生れ、昭和二十四年四月五日歿（七七一―一九五九）。明治二十八年帝國大

學法科大學政治學科卒。二十二年ドイツ留學、二十六年東京帝大教授、

大正八年辭任、翌年大原社會問題研究所所長。戰後日本社會黨創立に

參劃、顧問となる。また「日本共和國憲法私案要綱」を發表。

著譯書「本邦人口の現在及將來」（大正五年十月十五日通俗大學會

「通俗大學文庫」）、「統計學（大正十一年度東大講義）」（大正十

二年五月七日岩本誠）編輯）、ロバート・マルサス著「人口の原理の

闡する一論」（大内兵衛共譯、大正十二年十月十五日同人社書店）、

同「初版人口の原理」（同、昭和十年七月十五日、改訂版・二十七年

九月十六日岩波書店「岩波文庫」）、リヒター著「統計學批判」（譯

昭和十六年四月十日東田書店「統計學古典選集」）、改訂「增補社會統計

學史研究」（昭和十七年七月十日東田書店）、「決戦下の社會諸科學」

權田保之助（大内兵衛合著・大原社會問題研究所編、昭和十九年四月）、「森戸辰男

田書店）、「おっぴの尻」（遺稿集）」（鈴木鴻一郎編、昭和二十六年

四月）、「千日法政大學出版局」等。

文獻、大島清著「高野岩二郎伝」（昭和四十二年二月十五日岩波書

店）等。

